

まちづくり あいかわ

〜歴史的資源を活用した地域活性化の活動報告〜

— 61号 —

発行所 佐渡市相川支所
〒952-1592
佐渡市相川栄町 27 番地
TEL 0259 (74) 3111 (代)
FAX 0259 (74) 2551

金継 「市長との意見交換会」の報告

2月5日、金継が毎月開催している定例会議に、渡辺竜五市長、及び地域振興部 門田部長、並びに観光文化スポーツ部 佐々木観光振興課長補佐からご参加いただきました。

今回のテーマは、相川の飲食店を取り巻く現状と、地域づくりに取り組む私たちと行政との今後の協力体制づくりについてです。観光繁忙期と閑散期で大きく状況が変わる「飲食店問題」に対し、地域と行政が共通の課題認識を持つことを目的に実施されました。佐渡金銀山のお膝元である相川の賑わいを一過性のものにせず、持続・発展させていくための第一歩となる場です。

会議では、金継の代表 岩崎より、現場で聞こえてくる率直な声が市長へ届けられました。



相川の現場での声を市長に伝える金継の岩崎代表(左の写真・左側)

「飲食店は、まちの活気を映す大切な存在であり、その灯りを絶やさないと」が何より重要であるとの強い思いが共有されました。来島自体のハードルが高まる冬季の佐渡・相川の現状について問題提起がなされ、季節ごとの課題をどう乗り越えていくかが話し合われました。金継側からの現状報告を踏まえ、市長からも行政側の施策について、金継側に共有がありました。

飲食店問題は個店のみで解決できるものではありません。街歩き導線整備や観光インフラの充実、駐車場や公衆トイレの明確化など、まち全体での環境づくりが重要です。

観光客にとって安心して訪れることができ、出店を考える人にとって挑戦できる土台を整えることが求められています。

今回の意見交換会をきっかけに、具体的な施策へ繋いでいけるよう、地域と行政が今後も定期的に対話を重ねていきます。

(金継 新保)

地域おこし協力隊

新保 真子 退任のご報告

相川地区の皆様へ、地域おこし協力隊の新保です。

日頃より大変お世話になっております。急なお知らせとなりますが、令和8年3月末をもちまして、地域おこし協力隊を退任させていただくこととなりました。理由は家庭の事情によるものです。

昨年10月に着任して以来、ひと月を迎えるごとに新たな相川の魅力に出会えることが楽しく、学びと発見が増えていく日々でした。

「まちづくりあいかわを見た」と声をかけてくださった地域の皆様、「相川プライド100」の取材に応じて【次頁へ続く】

くださった方や記事を読んでくださった皆様、版画の楽しさを教えてくださった方々をはじめとし、これまで関わってくださった全ての皆様に、心より感謝申し上げます。日々の何気ない会話の中で多くの学びを与えてくださったことが、私にとってかけがえのない時間でした。

進めていたプロジェクトの志半ばでの退任報告になってしまったこと、大変申し訳ございません。最後までこの地で活動が続けたかったというのが、今でも感じる率直な気持ちです。任期中に予定しておりましたプロジェクトにつきましましては、金継メンバーの皆さんと相談し、調整中です。残りわずかではございますが、3月末まで責任を持って業務を遂行させていただきます。

家庭の都合上、今後は関東で生活していくことになりませんが、離れてもなお、相川の発展と皆様のご健勝を心よりお祈りしております。

(金継所属 地域おこし協力隊 新保)

相川 冬のごちそう祭

冬の新たな賑わいを創出するために、試験的な取り組みとして「相川 冬のごちそう祭」を1月から開催しています。

佐渡國相川あきんど会に所属する飲食店が数店舗参加し、地元食材を生かした**冬限定の”ごちそうメニュー”**を提供しています。寒い季節に嬉しい温かい料理や、この時期ならではの味わいを楽しめるのも魅力です。観光で訪れた方はもちろん、地元の皆さんにもおすすめ企画です。

3月15日まで開催していますので、ぜひこの機会に相川のまち歩きとあわせてお楽しみください。

詳しくは、下のサイトQRコードを読み込んでください。



相川 冬のごちそう祭

(佐渡國相川あきんど会

伊藤)

地域おこし協力隊

伊藤 幹太 退任のご報告

この度、3月末で任期満了となり、地域おこし協力隊を退任することになりました。令和5年4月の着任から3年、月日の経つ早さに驚くと同時に、地域の皆様に支えられながら充実した日々を過ごすことができたことに、感謝の気持ちでいっぱいです。相川で過ごした時間は、私にとってかけがえのない財産となっています。

任期中は、受け入れ団体である佐渡國相川あきんど会の活動に携わり、飲食店待合案内所やハロウィンイベントでは運営協力に加え、2年目からは事務局として関係者との調整や全体のコーディネートを担いました。準備段階から多くの方々と話し合いを重ねる中で、地域イベントを円滑に進める視点と、支え合いの大切さを学びました。

また、空き家を活用した「空き家図書館」を立ち上げ、館長として運営し、本棚オーナー制度により島内各地から約40箱の本を集められ、世代や立場を越えて人がゆるやかにつながる場として育てることができました。この「空き家図書館」は、関係者で協議を重ね、今後もあきんど会が主催となり、本棚オーナーの中から希望してくださったお店番の皆さんが中心となって運営していきます。



【次頁へ続く】

佐渡での3年間を通して、多くの方々とお出逢い、地域の中で役割やつながりが育まれていきました。人との心地よい距離感や支え合いの風土、そして挑戦を温かく受け止めてくれる環境の中で、佐渡は自分らしく暮らしながら生きることが出来る場所だと感じています。

こうしたご縁を大切にしたいという思いに加え、「こんな生き方をしたい」と思える方々と出逢えたことも大きな理由の一つとなり、退任後も佐渡に残ることを決めました。理由を挙げれば尽きませんが、退任後も自分らしく楽しみなながら、佐渡での日々の暮らしを大切に歩んでいきたいと思えます。

これまでいただいた温かいご支援とご協力に、心より感謝申し上げます。皆様から頂いた沢山の愛と学びを次なる力に変えていきます。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

(佐渡國相川あきんど会所属 地域おこし協力隊 伊藤)

久保田きぬ子さんの生家を整備しています

4月から活用予定!!

相川3町目浜町にある久保田きぬ子さんの生家・久保田家の整備が進んでいます。

久保田きぬ子さんについてご存知の方も多いかもしれませんが、旧相川町出身の憲法学者で、東京大学初の女子第一期生です。比較憲法とプライバシーの権威として知られるほか、昭和36年から3回にわたり国連総会の日本政府代表代理を務めた方です。三島由紀夫の小説『宴のあと』が有田八郎のプライバシーを侵害したとして争われた事件において、法学的な見地から有田氏側を支援したことで知られている方です。ちなみに、この事件は、日本において初めてプライバシーに関する権利が法的に認められた裁判例となったのだそうです。

さて、この度ご縁をいただきまして、久保田家の建物を相川車座でお預かりして活用することとなりました。



相川三町目浜町の久保田家(離れ) この山側に母屋がある

今春、ご親族が改装整備された母屋隣の離れを客室として活用します。この離れの建物は、昭和20年頃から57年頃まで、久保田家から医師の浅岡博さんが借り受け、地域の人々に親しまれ、地域の医療を支える「浅岡医院」を開業していた場所でもあります。ご親族のご希望から、こちらを、ペット連れの方が宿泊できる客室として活用する予定です。

将来的には母屋も活用していくことを考えています。今年、期間限定で母屋部分も活用し、裂織などの工芸ミニ体験や、相川の偉人や歴史などを紹介する偉人・歴史展などのイベントを開催する予定です。

また、昨年よりプレオープンしていましたが、大山祇神社の旧社務所の追加整備も進んでいます。この度は、樹木医さんのご指導のもとと近隣の樹木整備や、東屋“の設置も行っています。観光客のみならず地域の皆さまにも大山祇神社の参拝時に、気軽に腰を下ろしていただける休憩場所として整備しています。



新たに整備を進めている東屋

4月には、両施設ともに正式オープン予定です。4月下旬にお披露目を兼ねたセレモニーと記念内覧会を行いたいと思います。詳しい日程や内容については、来月のまちづくり相川にご案内いたします。

ひなまつり期間中の3月14日13時から 「ちくちくの会」を開催します!

今冬からスタートした「ちくちくの会」ですが、おかげさまで、毎週集まっては和気あいあいとおしゃべりしながら、丹前(どてら)づくりを進めています。

先月号でもお知らせしたように、清水家の下町交流ロビーでは、昨年引き続き、「相川ひなまつり」に合わせて、3月6日～15日まで、ひな人形の展示を行っています。

今回のひなまつり期間中にも、清水家ロビーで「ちくちくの会」を開催することになりました。ご興味のある方は、ひな人形の展示見学と合わせてちくちくの会」の様子をお気軽にご覧ください、お待ちしております。



【お問い合わせ】 相川下町交流ロビー

(NIPPONIA佐渡相川金山町)

☎ 050-1720-9976

(自動音声受付ですが、6番を押すとつながります。)

相川車座

雨宮

はなが甲子園 『本選大会』

いよいよ開幕!!

3月19日から、第26回全国高等学校版画選手権大会の本選大会が開催されます。この本選大会には、全国各地の参加校から提出された作品による予選審査を通過した13校が出場します。その13校の中には3校の初出場校がある一方で、本選出場20回を数える強豪校も名を連ねています。開催地である佐渡市からは、第24回大会で文部科学大臣賞を受賞した佐渡中等教育学校の出場が決定しており、活躍が期待されます。

本選大会は、各出場校3人の選手と監督1人で構成される団体戦で、3日間という短い期間で版画の技を競い合います。開会式で発表される「テーマ」を基に、佐渡市内各地で取材し、イメージを膨らませ、与えられた材料と条件の下で一気に彫り上げます。作品の構想力や版画の技術だけではなく、長時間に渡り集中力を途切らせることなく、作品制作に打ち込む選手の姿は、ある種スポーツのようにも感じられます。

大会会場では、そのような選手たちの姿を観戦することができます。ぜひとも全国から佐渡へ来て版画制作に打ち込む高校生たちに、熱い声援を送りに会場へお越しください。

▼本選大会日程

- 3月19日(木) 9時00分、開会式・取材・作品制作(13時から)
- 3月20日(金) 7時30分、作品制作
- 3月21日(土) 7時30分、作品制作(18時まで)
- 3月22日(日) 9時00分、表彰式・閉会式

▼本選大会会場 相川体育館

(はなが甲子園大会事務局)

【お詫び】今回は紙面の都合により「あいかわ道草話」をお休みします。